議会だより

第31号

みやだ

Miyada Village Assembly News

平成30年11月8日

長野県上伊那郡宮田村議会

■ 中央アルプスの紅葉

平成29年度　決算報告

一般会計

歳入総額　41億　419万7千円

（前年度より 5,990 万 6 千円増）

歳出総額　39億　792万5千円

（前年度より 611 万 7 千円増）

差し引き額　1億9,627万2千円

（前年度より 5,378 万 9 千円増）

特別会計・事業会計決算

会計種別	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険会計	9億　588万円	8億2,536万円	8,052万円
介護保険会計	8億1,345万円	8億　961万円	384万円
後期高齢者医療会計	9,770万円	9,657万円	113万円
水道事業会計（収益的収支税抜）	1億4,363万円	1億2,752万円	1,611万円
下水道事業会計（収益的収支税抜）	2億5,693万円	3億1,932万円	▼6,239万円

平成 29 年度の主だった事業実績

単位：千円

広報みやだ発行	2,766	除融雪事業	5,573
地域づくり支援事業（8 地区）	2,494	道路維持管理事業	6,839
各区への交付金	5,050	宮田高原センターハウス建設	27,387
国保会計繰出金	43,048	常備消防（上伊那広域）	97,825
介護保険会計繰出金	121,060	消防施設整備（防火水槽 2 基）	12,150
福祉タクシー事業（740 人交付）	7,491	小学校管理事務（事務器・施設）	16,039
障がい児福祉事業	29,671	中学校管理事務（同上）	15,640
障がい者自立支援給付事業	151,690	中学校トイレ改修工事	28,350
なごみや管理事務費	4,909	学童保育事業	6,684
保育所運営事業	258,319	村民会館管理事務	21,618
児童手当	164,113	体育施設管理事務（委託費含む）	19,177
うめっこらんど管理運営	7,962	上伊那広域ごみ処理事業	49,163
地籍調査（543 筆）	15,925	下水道事業繰り出し金	12,209
村有林造林事業	6,152	公有財産取得（役場南土地）	21,662

決算委員会　付託議案審査報告

決算委員会委員長：久保田秀男

審査の経過その過程に於いて出された質問、意見について主なものを以下に申しあげます。

▲一般会計

歳　入

歳入

Q：村税の収納状況について。
A：個人未納者は 24 人で 20 万円程である。村税全体で 4300 万円ほど増えているが宅地分譲や大手企業の増築による固定資産税の伸びが大きな要因である。

Q：村営住宅使用料の未収金状況は。
A：滞納者は昨年と同じ 2 人で計画的に回収している。新たな人が出ない努力もしている。

歳　出

総務費

Q：ふるさと納税の使途を具体的に細かく示してほしい。
A：使途を指定された寄付金は意図に沿うよう使っているが、詳細がわかる様検討したい。

Q：地域おこし協力隊員や村人テラス、みやさん号等の活動報告を見える化して欲しい。
A：表示の仕方を検討している。他の機会でも随時報告できるようにしたい。

民生費

Q：福祉タクシー券の利用率が 6 割とあるが４割は使っていないと言う事か。
A：緊急時に手元にとって置きたい方もいる。民間の移動販売車も運行している事からその様子を加味して全体的に見直していきたい。

Q：保育で待機児童ゼロとなっているが預かってもらえないとの声があるが。
A：３歳以上児は必ず受けているが誕生日前の 0 歳児や未満児については保育士不足でお断りせざるを得ない場面もある。一時保育もうめっこらんどやファミリーサポートにお願いして対応している。

衛生費

Q：ごみ袋の値上げがあったがその影響は。
A：広域連合からの配分金は増えているがごみの減量化に繋がっているとは言えない。広域全体では減っていく傾向にある。

Q：公害対策について水質汚濁と野外焼却の実態は。
A：いわゆる公害とまではいかない。迷惑行為や白濁による通報があったもので、村の環境基準を超えるようなものではなかった。

農林水産業費

Q：こまゆき荘について「管理運営委員会」で今後のあり方を検討とあるがこの意味するところは止めるとかも含めてか。
A：利用客の減少が著しく何とかしなければとの思い。来年３月で指定管理期間が切れるので新たに管理者を募集する。やるか止めるかの決定はあくまで村が決め議会に諮りたい。今の段階では継続していきたい。

Q：鳥獣被害が増えている。特に日本鹿の中アへの進入を防ぐ手立てが必要では。
A：上伊那で協議会を立ち上げ検討している。場所や地域が限定できないので困難な面があるが業者に委託して調査している。

商工費

Q：宮田高原のセンターハウスやトレッキングコースの利用状況は。
A：センターハウスを有料での使用者はいないが公民館事業や予備登山等で利用。トレッキングコースの利用者は掴んでいない。案内板や広報でアピールしていきたい。

Q：プレミアム商品券の発行は緊急経済雇用対策事業の一環。協議会は解散しているが。
A：協議会の役割は終えて廃止しているが村・商店の活性化として取り組まれたが、商工会とも協議して検討していく。

土木費

Q：監査委員から書類の不備を指摘されているがその内容は。
A：請負業者との間で口答による変更を指摘された。協議書を作成し形で残したい。

消防費

Q：消防団員世帯応援助成金交付が団員数と合わないが。
A：出席率などを考慮して申請されたものと考えられる。

教育費

Q：村民会館のエアコン点検が６回とあるが、故障した原因は。
A：エコアイスが出来ていなかったのが原因で今は直っている。経年劣化もあり更新も考えたい。リースでの対応も検討する。

▲平成 29 年度国民健康保険特別会計

Q：高額療養費 5500 万円の内容は。
A：癌や精神疾患、入院費が主なもので、透析患者の負担も大きい。手術費も高額となる。

障害者の雇用は！
［宮田村の雇用実態と行政の役割］

川手　三平

質問 宮田村及び村内の障害者雇用の実態について。

答弁 村の障害者雇用状況は、重度の身体障害者雇用で 2 人分としてカウントされ、2.08％（法定雇用率 25％）となっている。法定との差が 1％未満なので、安定所からの指導はない。民間企業の実態については、直接所管をしていないので現在把握していない。

質問 共生の社会と言われる中で、村として障害者雇用をどう捉えているか。

答弁 村は 2 人体制の係が非常に多く、障害者をサポートしながら業務を進めて行く事は、簡単ではなく悩みが多いところである。障害者の出来る事に目を向け、活躍の場を提供し、共生社会の実現に向け少しでも前に進められる様検討・研究を進めたい。

質問 雇用を増やし雇用希望者を把握し、それを叶える構想は。

答弁 雇用拡大は重要な事と捉えている。権限のある監督官庁では無いので厳しいものがある。
各業者の協力と、就労できる障害者を育成することが大事だと思っている。

男性職員も
育児休暇の取得を！

宮井　　訓

質問 ママサポートの方々との懇談をさせていただいた中で「核家族化が進んでいる現在で父親の子育て参加が大事になってきているのでもっと育児休暇と言う制度を取得できるようにならないか」と言う意見をお聞きした。子育て支援の一環として男性職員に育児休業の取得促進をすべきでないか。

答弁 （村長）今まで男性職員が制度を使ったことはない。それぞれの家庭において、必要に応じて対応していくことで、職場としては、どうしたら取得しやすい環境づくりを進めるかということは、非常に重要だと考えている。

質問 村図書館の開館時間延長や学校が長期休み期間の月曜開館を検討できないか。

答弁 （教育長）図書館の利用データーや現状の人的配置を考えると時間の延長などは厳しいと考えている。今後どの程度のニーズがあるのか、ちょっと調査アンケート等をとらせていただいて、そのニーズに応じて検討していきたいと考えている。

日本一を目指す子育て支援に関して

久保田秀男

質問 日本一を目指す子育ての現状と到達点をどう評価しているのか。

答弁 （村長）「日本一を目指す」は私の政策の柱ですが、保育園・小・中学校共インフラ整備はまだまだと考える。特にＩＣＴ環境整備はこれから。課題は山積しており、本当に必要な支援は何かに絞って計画的に進めて参りたい。

（教育長）本年度こうめ保育園未満児保育室の増設をして体制を整えている。嘱託・パートの保育士賃金を見直し保育ニーズに対応出来る様努めているが、未満児や加配を要する園児の増加で追いつかないのが現状。

質問 制度的な面で全国的に見ても優れていると言っても、肝心な事はそこにどういった子どもが育っているかの方が大切な事だと思うが、子供の育ちについてはどう評価しているのか。

答弁 （教育長）子供たちの生活習慣は身についており、規範意識も高いとの評価を得ている。また地域の人との関わる機会も多く、地域での支援がありがたい。ただ、宮田の子供は積極性にかけていて自己顕示欲に乏しい。学校はもとより家庭・地域ぐるみで子供を育てて参りたい。

宮田村がほこる「水」くらしの中の小河川は

城倉　栄治

質問 一級河川から取水している小河川について近年、農業用水が確保できない状況が発生しているが現状をどのように捉え、対策の考えは。

答弁 （村長）太田切川については大久保井、大田切井は太田切川の河床が削られ下がってしまい取水ができない。毎年、重機にて改修し取水している。河床整備を国に要望している。小田切川、大沢川については砂利の流入が多く小河川に砂利が堆積し水量の確保に苦慮されていると聞いている。黒川水系水利組合、関係地区、農業団体に水門管理や砂利上げ作業等のご協力をいただいている。砂利流出の原因は現在、特定できていないが国、県へ土砂流出対策をお願いする。小河川の沈砂池の設置もしたが今後は水門管理の見直しと取入れ方法を検討する。

質問 生活ゴミやビン、缶、タバコの吸い殻等のポイ捨てと刈り草の流入により下流で水路の詰まりが発生している。「水」は村の特産品、対応策は。

答弁 （村長）ポイ捨て禁止条例は考えていない。パトロール強化とさらなる広報活動で河川愛護の意識高揚をはかる。

人手不足には行政としての支援も必要である

加藤　恭一

質問　村内の製造業については、どの企業もおおむね業績は好調で、その雇用は非常に多い状況です。そんな中、今年は村内の企業の皆さんは、多くの企業で大卒はおろか高卒の学生も採用できない状況です。そしてこの人手不足、労働力不足の状況については、今後かなり深刻になるというふうに予想されていますが、行政としてできる対応をどのようにお考えなのかお伺いいたします。

答弁　今後は村内企業でさらに人手不足の状況が予想されます。現在はUターンを促進するための就活事業、ＵＩＪターン希望者の仕事の紹介、それからＵＩＪターンお試し就業補助制度を活用しながら雇用の確保等を進めています。

就職活動を進める学生本人に、なかなか地元の情報が届きづらい現状があるが、保護者向けへの通知や大学の担当者への案内等を工夫しながら、上伊那若者人材確保協議会と連携して、就職情報の提供も行っています。その他シゴトフェスや上伊那企業研究会、就活バスツアーの事業を進めています。

家族等介護者・高齢者支援について

竹村　照美

質問　介護保険制度後も介護者の負担感は大きくは減じてはいず、ダブルケアの方、介護離職者、男性介護者あるいは潜在的な方々が情報弱者とならぬよう、いかに評価し支援していくかについてはどのようにお考えか。

答弁　（村長）全てのケースを看過できない状況と捉え優先順位をつけつつ検討をし、まだ相談に来られていない方々の把握にも一生懸命手を差し伸べていきたい。

質問　エンディングノートをヒントに、介護のあり方や最後の迎え方そして伝えたいこと等々を記録化する事業を始める自治体が増えつつある。自分らしく生きられると反応は積極的とのことだが村ではどのようにお考えか。

答弁　（村長）現在の段階では具体化はしていないが、研究に値することだと思っている。

村における防災体制の強化について

小野　　章

質問　村の地域防災計画の見直しと千年一度の洪水想定区域のハザードマップの作成状況は。

答弁　（村長）現在の土砂災害洪水ハザードマップについては今年度に修正予定となっている。現在は掲載事項の検討を始めたところです。
今回の更新に伴い村民の皆さんに村の防災全般について理解し活用してもらえるような防災ハザードマップとして見直していく。

質問　豪雨災害時に全村民が無事に避難するために村が示す事とは。

答弁　（村長）村もある程度は今年度に見直すハザードマップ等で示すことができるが出来れば各地域の自主防災組織において過去の洪水や災害経験、地元の皆さんの体験等を踏まえて避難経路等をハザードマップに落とし込み、作りこんで頂きたい。河川の危険箇所の防災カメラなどを見られるので確認して避難の参考にしてほしい。

農業・農村の持続的発展について

小林　宏美

質問　農業・農村の最大の役割は、国民生存条件の根本にかかわる２つのことが上げられる。**1.「国民への食糧の供給」と、2.「国土と環境の保全」**です。ところが、２つのことが果たせなくなっている。その原因は、歴代政府の農業切り捨て政治にある。農業を国の基幹産業に位置付け、食糧自給率を上げることを国政の柱に据えるべきで、

1.多様な担い手の支援。2.価格補償や所得補償を実施する。3.食料主権を保障する貿易ルールを確立する。4.農業の振興と農村社会の維持に力を入れる。など、実施されれば展望は開ける。担い手、後継者の支援、確保をする点でも農家の負担軽減など図る必要がある。農地機能の条件整備や大きい法面など公共用地の草刈を最寄りの耕作者から解放することはできないか。

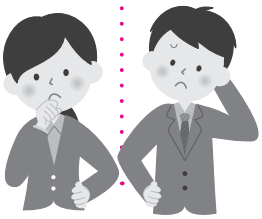
答弁　（村長）農地・水の共同活動の助成を活用して、道水路の管理に助成している。畦畔の草刈代などの助成を行っている。地先の管理はご協力をお願いしたい。

広域行政との関係性の再確認

天野　早人

質問　伊南行政組合の新たな業務に「組合長が必要と認める事項」と「観光振興」を加える動きがある。前者は拡大解釈の恐れがあり、後者は民間主導で取り組んでいくという従来の説明と異なる。基礎自治体の立場として、この改正は再考すべきではないかと考えるが、宮田村長としてどのように考えているのか。

答弁　（村長）基礎自治体の役割と責任を果たしながら、連携がより効果的、効率的な事業は、その仕組みを模索することも重要。「観光」は伊南行政組合が直接手を下してできるものではない。「その他必要な事項」も若干消極的に捉えている。議会は議会なりの方向性を見出していただければ幸甚である。



産業文教委員会視察報告

産業文教委員　竹村 照美

視察先 ＊ 宮田高原キャンプ場・不動滝

毎年恒例の産業文教委員会登山道視察に行ってきました。宮田高原から不動滝へのコースでしたが、特に宮田高原キャンプ場のトレイルランコース（2 期工事発注済み）の進捗状況や施設などを見てまわりました。起伏があって良いコースではないか？この維持管理はどのようにしていくのか？スキー場だった名残の有刺鉄線があるがこれはこのままで安全か？等々。次に向かったセンターハウスでは、ガラスの強度はどうか？置いてある椅子とテーブルの使い勝手はどうか？靴についた泥を落とす水場が欲しいとの意見も出ました。

その後、霧に包まれたキャンプ場を後にし雲海を楽しみながら不動滝へ。見ている間にも滝はみるみる水かさを増し大変迫力がありました。降りる途中の石段と地面とのズレが昨年より大きくなっているとの指摘もありました。

今後とも多くの皆様に楽しんで頂くためにも丁寧な視察を心がけ安心安全に取り組んでいきたいと考えております。

9月定例会の主な内容

●補正予算議案審査

◇一般会計補正予算は歳入歳出に1億7912万1千円を追加し39億9886万3千円にすることを議決決定

主な事業として

◇パート保育士賃金　782万円
◇障がい者自立支援給付事業（施設支援）　500万円
◇障がい児通所支援　500万円
◇介護保険料激変緩和補助金　160万円
◇落石防護柵設置工事　130万円
◇ごみ分別表（4カ国語）　52万5千円

●条例等

◇宮田村税条例の一部を改正する条例案について
◇宮田村環境保全条例の一部を改正する条例案について

●意見書の提出

◇介護職員の待遇改善を求める意見書
◇国に対して「介護職員の待遇改善を求める意見書」の提出を求める陳情書

平成30年 第3回（9月）議会議案審議・賛否議決結果

	件名	賛成	反対	議決結果
条例	宮田村税条例の一部を改正する条例案について	11	0	可決
条例	宮田村環境保全条例の一部を改正する条例案について	11	0	可決
決算認定	平成29年度宮田村一般会計歳入歳出決算認定について	11	0	可決
決算認定	平成29年度宮田村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	11	0	可決
決算認定	平成29年度宮田村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	11	0	可決
決算認定	平成29年度宮田村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	11	0	可決
決算認定	平成29年度宮田村水道事業会計決算認定について	11	0	可決
決算認定	平成29年度宮田村下水道事業会計決算認定について	11	0	可決
予算	平成30年度宮田村一般会計補正予算案（第2号）について	11	0	可決
予算	平成30年度宮田村国民健康保険特別会計補正予算案（第1号）について	11	0	可決
予算	平成30年度宮田村介護保険特別会計補正予算（第1号）について	11	0	可決
予算	平成30年度宮田村後期高齢者医療特別会計補正予算案（第1号）について	11	0	可決
予算	平成30年度宮田村一般会計補正予算案（第3号）について	11	0	可決
その他	宮田村教育委員の任命に関し同意を求めることについて	11	0	同意
その他	宮田村固定資産評価審査委員の選任に関し同意を求めることについて	11	0	同意
その他	宮田村道路線の認定について	11	0	可決
意見書	介護職員の待遇改善を求める意見書	11	0	可決
意見書	国に対して「介護職員の待遇改善を求める意見書」の提出を求める陳情書	11	0	採択

決算委員会による決算特別評価

それぞれの部門に於いて選定された事業を
1、必要性　2、有効性　3、効率性　4、優先性　5、総合評価　に分けて評価し
今後の方向性について拡充、継続、縮小、廃止の 4 段階で方向付けを行いました。

評価指標の概要

数値が小数点以下まである場合、議員によって評価がわかれたことを意味しており、その平均値を表記してあります。
「今後の方向性」の数値は平均点ではなく、「拡充・継続・縮小・廃止」をそれぞれ選択した議員の数をあらわしています。

1、必要性

＜住民からのニーズ＞

4	増大または極めて高い
3	従来どおりまたは高い
2	減少またはやや低い
1	かなり減少または低い

＜村が実施することの妥当性＞

4	村が実施することが法令等で定められている
3	適当な移管先がなく村が実施する必要がある
2	一部を村以外の主体へ移管できる
1	大半を村以外の主体へ移管できる

2、有効性

＜期待される効果の達成状況＞

4	かなり効果あり
3	一定の効果あり
2	効果は小さい
1	ほとんど効果なし

3、効率性

＜コスト削減の余地＞

4	余地なし
3	当面削減できない
2	一部削減できる
1	大幅に削減できる

4、優先性

＜各課の予算が大幅に削減されたと仮定した場合の対応＞

4	他の事業より優先して行う
3	事業費を一部縮減して行う
2	事業費を大幅に縮減して行う
1	廃止する

5、総合評価

4	極めて良好に実施
3	適切に実施されている
2	一部改善の余地あり
1	改善を要する

6、決算委員会全体で見た今後の方向性

・拡 充　・継 続
・縮 小　・廃 止

議会部門の評価

評価対象事業　［ 議会研修 ］

宮田村議会では研修要項に基づき、先進地等に赴き先進事例の調査研究を行なったり、専門的知見を有する者を講師としてお願いし、専門的な知識を体得したりする等して議会活動に活かすための研修を行っています。議会としては『継続』と判断しました。

1 必要性		2 有効性	3 効率性	4 優先性	5 総合評価	6 今後の方向性	
ニーズ	妥当性					拡充	継続
2.80	3.80	3.00	3.60	2.60	2.80	3/11人	8/11人

＜今後の方向性の理由・意見・提案＞

・他を見るというのは十分に意義がある。継続して勉強したい。
・拡充に近い継続である。理由としては旅費が 16,400 円では範囲が限られる。そしてこの予算で行ける範囲は行きつくした感がある。もっと内容をいいものにするには、今後考える必要がある。
・報告書をその後にどう活かすかといった議論が欠けているので、今後は活かし方を検討する必要がある。

総務厚生部門の評価

評価対象事業 ［婚活サポート］

人口増施策の一環として行われており、事業費 360 万円です。事業は宮田村社会福祉協議会へ委託しており、マッチング指導員を配置している。
結婚相談所の登録者は 47 名で 5 回の婚活イベントを開催し 7 組のカップリングと 1 組の成婚と言う実績です。

1 必要性		2 有効性	3 効率性	4 優先性	5 総合評価	6 今後の方向性
ニーズ	妥当性					継続
2.67	2.83	2.50	2.83	2.83	2.17	11/11人

＜今後の方向性の理由・意見・提案＞

宮田村単独ではなく、広域的に事業を行っていく必要がある。
こういう機会を行政が作っていくことも必要である。
人は出会いで成長し、村の少子化対策にもつながっていく。

評価対象事業 ［なごみ家管理事務］

高齢者や障がいを持つ方々が住み慣れた地域での居場所として拠点で地域活動支援センターとしての役割を果たしている。
事業費は 490 万円です。
年間 290 日開所し、利用人数は 4834 人でありました。

1 必要性		2 有効性	3 効率性	4 優先性	5 総合評価	6 今後の方向性	
ニーズ	妥当性					拡充	継続
3.00	3.00	3.50	3.17	3.83	3.67	1/11人	10/11人

＜今後の方向性の理由・意見・提案＞

少子高齢化の中で看る人が減ってきているので地域で支え合っていく仕組み作りは必要である。
適切に利用されているが知らない人も多いので積極的な広報も大事である。
いい施設なので大切にしていって欲しい。

産業文教部門の評価

評価対象事業
［農地耕作条件改善事業］

国・県の補助を受け 2 年を限度として実施される水路などの改修事業で、29 年度決算額は 2900 万円（2 年間で）4 工区に分けて発注し駒ヶ原地区から大田切への水路接続により大久保区の補給水として有効活用された。

1 必要性		2 有効性	3 効率性	4 優先性	5 総合評価	6 今後の方向性	
ニーズ	妥当性					拡充	継続
3.33	3.00	3.17	3.33	3.00	3.00	1/11人	10/11人

＜今後の方向性の理由・意見・提案＞

有利な補助事業を計画的に確保出来る様努めると共に、耕作条件整備は後継者育成の為にも必要。
区からの要望も多い事から優先順位を見定めながら順次改善に努めるべき。

評価対象事業
［スポーツ・文化合宿誘致補助事業］

村単独事業で村内の宿泊施設を利用し合宿をした団体に補助金を交付する事業。
29 年度は 13 件 67 万 8 千円が交付された。

1 必要性		2 有効性	3 効率性	4 優先性	5 総合評価	6 今後の方向性
ニーズ	妥当性					継続
2.17	2.83	2.33	2.67	1.67	1.50	11/11人

＜今後の方向性の理由・意見・提案＞

制度利用の宿泊施設が限られている中、1 社に集中する形で補助されている現状は公平性に欠ける。
制度の枠内では利用件数が伸びないし本来の目的である「交流人口の拡大」に繋がらない。
制度の見直しとアピールの仕方を再考すべき。

第2回 議会と語ろう会

ママサポートの会の皆さんと懇談会の報告

子育て日本一の村への提案

平成30年7月24日に村民会館にて開催し、プレゼンテーションによる子育て日本一村への提案や各テーマによる意見を聞きました。

ママサポのプレゼンテーション　… 50人のママさんのアンケート調査 …

ここを聞いてね！

① ママにとって子育ての優先度が高い事業とは … 子供の一時預かり事業
② ママにとって子育ての優先度が低い事業とは … 保育料無償化の事業
　保育料無償化の弊害 → 子供の一時預かりをお願いしたら保育士不足を理由に断られた
③ 保育士の労働改善（臨時パートから正規採用）
④ 育休を設けてもらいたい（企業、役場）

語ろう会当日のママの意見

ここも聞いてね！

① 産前産後保育の充実 … 保育が4ヶ月→2ヶ月になる　体調不良で精神的に不安定
② 消防団への意見多数 … 子育ての一番大事な時に家にパパがいない
　家庭に用事がある時は早く帰して下さい。飲み会も多すぎる
　消防団の大変さも分かるが家庭も大変

その他
　おしゃべりカフェで　→ 女性の少数意見が村になかなか伝わらない
　検診時に　→ 助産師や栄養士の言い方がきつい

ママサポートの皆さん ありがとうございました。

＊＊＊ 議会トピックス ＊7月・8月・9月 ＊＊＊

7月	4日	伊南行政組合議会全員協議会・伊南市町村議会議員研修会	
	5日	機能強化特別委員会	
	8日	上伊那消防ポンプ操法大会・ラッパ吹奏大会	
	17日	広報広聴会議・全員協議会・安全会議	
	19日	機能強化特別委員会	
	20日	長野県町村議会議員研修	
	24日	村議会と語ろう会・村議会産業文教委員会	
	25日	広報広聴会議・議会運営委員会	
	30日	天竜川護岸改修促進期成同盟会総会	
8月	2日	議会機能強化会議・伊南地域総合開発期成同盟会	
	6日	議会機能強化会議・長野県伊那建設事務所宮田村現地調査	
	15日	宮田村成人式	
	17日	宮田村むらづくり基本条例検証委員会	
	21日	決算委員会・全員協議会	
8月	23日	機能強化特別委員会	
	28日	上伊那広域連合議会	
	31日	一般質問通告・議会運営委員会	
9月	2日	議会危機管理連絡会	
	3日	議会運営委員会・正副議長会議	
	7日	定例会本会議	
	11日	定例会本会議一般質問	
	12日	定例会本会議一般質問	
	13日	決算委員会・産業文教委員会	
	14日	決算委員会・総務厚生委員会	
	18日	決算委員会・全員協議会	
	19日	全員協議会	
	20日	議会運営委員会・定例会本会議・全員協議会	
	25日	産業文教委員会	
	26日	機能強化特別委員会・上伊那市町村議会議員研修	

編集後記

議会機能強化特別委員会の発足から4ヶ月が経過しました。議会に関する条例の見直しや他町村議会との比較、議会機能を強化するための研修など、調査研究を進めています。議会白書（しおり）の作成もその一つです。議会の役割や議員の仕事、村民の皆さんと議会の関係、宮田村議会の特色などをお伝えできればと考えています。完成をお楽しみに。

天野　早人

12月議会会期中日程（予定）

12月	3日	● 定例会本会議開会	午前9時開会
	6日	● 定例会本会議一般質問	午前9時開会
	7日	● 定例会本会議一般質問	午前9時開会
	10日	● 産業文教委員会	開会時刻未定
	11日	● 総務厚生委員会	開会時刻未定
	13日	● 定例会本会議閉会	開会時刻未定

すべての会議が公開されますので
傍聴においでください！

発行／宮田村議会　長野県上伊那郡宮田村98　☎0265-85-3181
編集／広報広聴会議
印刷／パブリックレコード㈱